



ていねい 動詞の丁寧形「～ます」

この課では「食べます」「歌います」「行きます」のように、聞き手に敬意をもって、丁寧な表現にする動詞の形(丁寧形)を学びます。

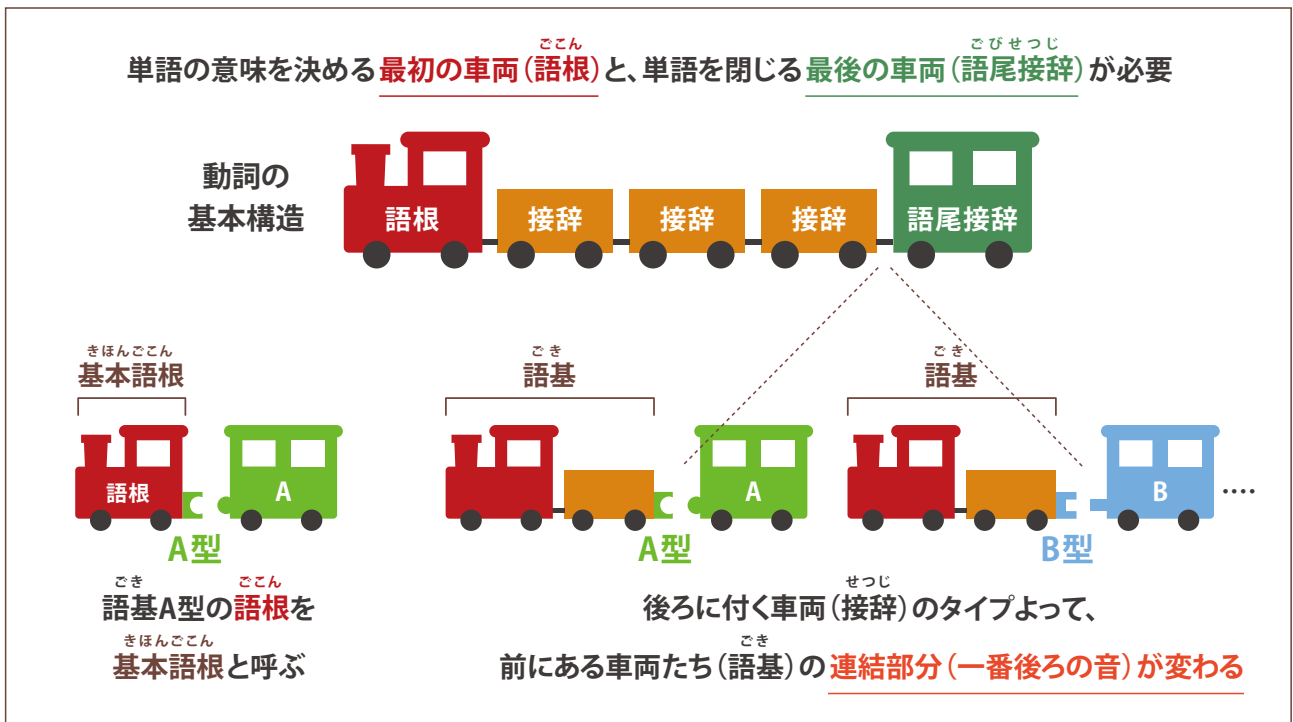
ポイント

1. 動詞の丁寧形「～ます」は、動詞の語基(B型)に、丁寧形の接辞 *-yabu*¹ を付ける。
2. 丁寧接辞の後ろに時制接辞、語尾接辞が続く。

1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

動詞を列車にして説明します。動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、付属の車両(接辞)がついて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます²。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、A型(基本形)、B型、C型の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。

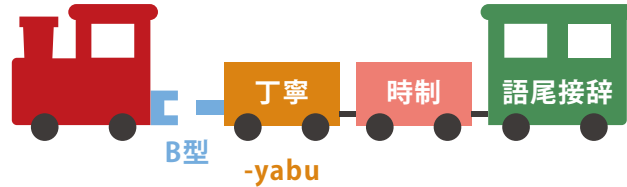


1 - は接辞のマークです。

2 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基=語根になります。2以降の説明は、すべて語基=語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

2 丁寧形

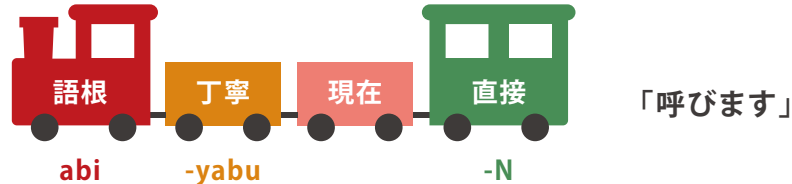
丁寧接辞(-yabu)は、語基(B型)に接続し、その後、時制(非過去／過去)を表す接辞と語尾接辞が接続して動詞が完成します。



丁寧接辞の後に来るとき、非過去接辞は形を持たないのですが、過去接辞 **-a** は形として現れます。「呼ぶ」という動詞を例に、見てみましょう。

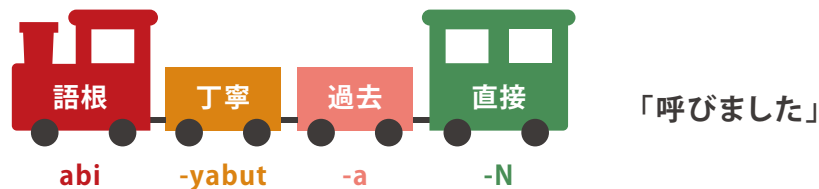
(1) 非過去の丁寧形

「呼びます」は、「呼ぶ」の語根 **abi**³に、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞 **-N** が接続して **abi-yabu-N** 「呼びます」となります。



(2) 過去の丁寧形

「呼びました」は、「呼ぶ」の語根 **abi** に、丁寧接辞 **-yabut**、過去接辞 **-a**、直説接辞 **-N** が接続して **abi-yabut-a-N** 「呼びました」となります。



過去接辞 **-a** は語基C型に接続する接辞なので、**-a** がつく語根が **abi** ではなく **abit** という形に変わる点に注意してください(「動詞の過去形」を参照)。

³ 語根を表すときに、ななめ文字を使います。

語基(B型)には方言差があることが分かっているので、以下では西部方言の代表として上平川方言、
 東部方言の代表として国頭方言を例に具体的な形を見てみましょう。

2-1 上平川方言

上平川方言の語基の変化の仕方は、表1の通りです。例えば「待つ」という動詞の語根は *mat* です。「待ちます」と言いたいとき、「待つ」*mat* の語基B型 (*mat* のまま) に、丁寧接辞 *-yabu* と直説接辞 *-N* を付けて、*mat-yabu-N*「待ちます」と言います。

表1. 上平川方言(西部方言)の語基の変化

語基のタイプ	① 母音 終わり	② s 終わり	③ k 終わり	④ t 終わり	⑤ g 終わり	⑥ ny 終わり	⑦ m 終わり	⑧ b 終わり
語基 A (基本形)	母音	s	k	t	g	ny	m	b
語基 B	母音	s	k	t	g	n	m	b
語基 C	母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

2-2 国頭方言

国頭方言の語基B型は、表2の通りです。例えば「待つ」という動詞の語根は *mat* です。「待ちます」と言いたいとき、「待つ」*mat* の語基B型 *mac* に、丁寧接辞 *-yabu* と直説接辞 *-N* を付けて、*mac-yabu-N*「待ちます」と言います。

表2. 国頭方言(東部方言)の語基の変化

語基のタイプ	① 母音 終わり	② s 終わり	③ k 終わり	④ t 終わり	⑤ g 終わり	⑥ n 終わり	⑦ m 終わり	⑧ b 終わり
語基 A (基本形)	母音	s	k	t	g	n	m	b
語基 B	母音	s	c	c	z	n	m	b
語基 C	母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

3 語基に ^{ていねい}-i がつく丁寧形

国頭方言では、語基が母音終わりの時などに、丁寧接辞の前に ^{ていねい}-i が入ることがあります。例えば、「怒りました」という動詞は、「怒る」の語根 ^{あま}ama に、^{ていねい}-i がついてから、丁寧接辞 ^{やぶ}-yabu と直説接辞 ^{-N}-N がついて、ama-i-yabu-N「怒ります」となります。他にも、「書きます」は「書く」の語根（語基B型）^はhac に ^{ていねい}-i がついてから、丁寧接辞 ^{やぶ}-yabu と直説接辞 ^{-N}-N がついて、hac-i-yabu-N「書きます」と言うこともあります。どんな時に ^{ていねい}-i が入るのかは、まだ完全には分かっていません。

4 発音してみよう

丁寧形は、話し相手や聞き手に敬意を表す上でとても大切な表現です。色々な動詞の丁寧形を、発音してみましょう。2段ある場合、上の段が上平川方言（西部方言）、下の段が国頭方言（東部方言）を表しています。

^ああびやぶん
abi -yabu-N
呼ぶ -丁寧-直説
「呼びます」

^ななしやぶん
nas -yabu-N
産む -丁寧-直説
「産みます」

^ししにやぶん
sin -yabu-N
死ぬ -丁寧-直説
「死にます」

^ははきやぶん
hak -yabu-N
^ははちやぶん
hac -yabu-N
書く -丁寧-直説
「書きます」

^ままてやぶん
mat -yabu-N
^ままちやぶん
mac -yabu-N
待つ -丁寧-直説
「待ちます」

^うういぎやぶん
uig -yabu-N
^うういじやぶん
uiz -yabu-N
泳ぐ -丁寧-直説
「泳ぎます」

^かかみやぶん
kam -yabu-N
食べる -丁寧-直説
「食べます」

^ああしびやぶん
asib -yabu-N
遊ぶ -丁寧-直説
「遊びます」

練習問題

前の説明を参考に、次の動詞の丁寧形を予想して書いてみましょう。
それぞれの動詞の語根はななめ文字で書いています。

(1) *nibu* 「ねむる」 → () 「ねむります」

(2) *furus* 「殺す」 → () 「殺します」

(3) *ak* 「歩く」 → () 「歩きます」

(4) *tat* 「立つ」 → () 「立ちます」

(5) *fuug* 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こぎます」

(6) *num* 「飲む」 → () 「飲みます」

(7) *tub* 「飛ぶ」 → () 「飛びます」
